

第80号 「大逆転」

令和2年7月17日

はじめに、このたびの豪雨により江の川が氾濫し甚大な被害が出ました。被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

さて、前号で「視点転換」について書きました。私は、様々な視点、捉え方があると意識することで心に余裕が生まれ、自分の想像力や発想力に繋がり、行動次第では人生の大逆転の転機になり得ると思っています。

今号では、「大逆転は、起こりうる」という広告文を紹介します。これは、大手デパートの西武・そごうが、令和2年のスタートにあたり発表したもので、イメージキャラクターは、幕内最軽量力士の炎鵬関が務めています。

『大逆転は、起こりうる。わたしは、その言葉を信じない。どうせ奇跡なんて起こらない。それでも人々は無責任に言うだろう。小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。今こそ自分を貫くときだ。しかし、そんな考え方は馬鹿げている。勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。土俵際、もはや絶体絶命。』

いくら頑張っても駄目なものは駄目。そうってしまう人間の弱さを感じる文章です。しかし、この広告には次のようなメッセージが続きます。

『ここまで読んでくださったあなたへ。文章を下から上へ一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。』

では、ひっくり返してみます。

『土俵際、もはや絶体絶命。わたしはただ、為す術もなく押し込まれる。勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。しかし、そんな考え方は馬鹿げている。今こそ自分を貫くときだ。誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。それでも人々は無責任に言うだろう。どうせ奇跡なんて起こらない。わたしは、その言葉を信じない。大逆転は、起こりうる。』

自分らしさを貫いて勝負に挑むという力強いメッセージが伝わる文章になりました。人間の強さを感じます。

人間は、思い込みや先入観で行動してしまうことがあります。それが思い込みだとは気付かず、いつの間にか自分の中で真実となり、自分以外の価値観を受け入れることに抵抗を持つようになってしまいます。だからこそ、様々な視点を持ち合わせていることが必要なのです。発想力と想像力が重要となるのです。そして、どのような環境に置かれたとしても、周りを変えようとする前に自分が変わる意識と勇気を持つことが大切だと考えます。